

運送事業者14社のご協力のもと 簡易パーキング等を活用した中継輸送実証実験を行います

北海道開発局では、中継輸送実証実験にご協力いただける運送事業者を募った結果、合計14社の申し込みがありましたので、下記の通り実証実験を実施いたします。

実証実験中の簡易パーキング・チェーン脱着場では、実験スペース外への駐車にご協力をお願いいたします。

1 実施場所 以下の簡易パーキング・チェーン脱着場

■長距離輸送

- | | |
|--------------------|-------------------------------------|
| ① 【道 南 方 面】黒松内町白井川 | 令和6年9月中旬～11月（予定）
令和7年1月下旬～2月（予定） |
| ② 【道 東 方 面】音更町昭栄 | 令和6年9月中旬～11月（予定）
令和7年1月下旬～2月（予定） |
| ③ 【道 北 方 面】名寄市砺波 | 令和6年8月8日、令和7年1月下旬～2月（予定） |
| ④ 【オホーツク方面】上川町清川 | 令和6年8月下旬～令和7年3月（予定） |
| 北見市留辺蘂 | 公募の結果、実施希望なし |

■短距離輸送（地域内輸送）

【後 志 方 面】ニセコ町西富、喜茂別町尻別

令和6年8月下旬～令和7年3月（予定）

なお、各実施場所での実験日程は、以下のホームページで公表いたします。（随時更新）

https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/kn/dou_kei/slo5pa000001ht5c.html

<参加企業>

五十嵐運輸(株)、北見通運(株)、協進運輸(株)、札幌自動車運輸(株)、(株)ジェイアール貨物・北海道物流トラック事業部北見営業所、(株)道央通商旭川、苫小牧埠頭(株) 経営企画部新領域戦略室、日本貨物鉄道(株) 北海道支社道北支店、日本通運(株) 北見支店北見物流事業所、(株)ほくうん、北海道西濃運輸(株)、(有)真嶋食品、ヤマト運輸(株)、(株)陸運

※参加企業は、道東・道南で開催した「ロジスク」による企業間の調整により増える場合があります。

2 実施主体 北海道開発局

3 実施内容 別紙1～別紙6のとおり

（参考）令和6年6月10日発表資料

<https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/release/slo5pa000001eo6g-att/slo5pa0610doukei.pdf>

【全般に関する問合せ】

国土交通省 北海道開発局 建設部 道路計画課 電話（代表）011-709-2311
伊藤 典弘（内線5845）、角張 弘幸（内線5958）



【実証実験の取材申込】

北海道開発局ホームページアドレス <https://www.hkd.mlit.go.jp/>

別紙7の申込用紙にご記入の上、以下のアドレスまでお申し込みください。

申込用紙提出先アドレス hkd-ky-shakai-81@gxb.mlit.go.jp

令和6年度実証実験概要(長距離輸送)

- 北海道では、農水産品の道内移入量と道外移出量の格差や輸送量の季節変動に伴う片荷輸送等が課題。
また、トラックドライバーの時間外労働の上限規制適用（いわゆる「物流の2024年問題」）により、従来の長距離輸送が困難となるため、中継輸送・共同輸送の更なる普及促進が望まれる。
- 令和4年度に道内の物流事業者を対象に実施したアンケート及びETC2.0データの貨物車トリップ分析結果より、中継拠点の設置ニーズの高いエリアを抽出。
- これまで実験を行った地域（道北・オホーツク）に加え、新たに「道南方面」「道東方面」を対象に、ヘッド交換に必要なスペース（12m×40m=480㎡）が確保できる簡易パーキング・チェーン脱着場において実験を実施。

【実施日程】

各実施場所での実験日程は、以下のホームページで公表いたします。（随時更新）

https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/kn/dou_kei/slo5pa000001ht5c.html

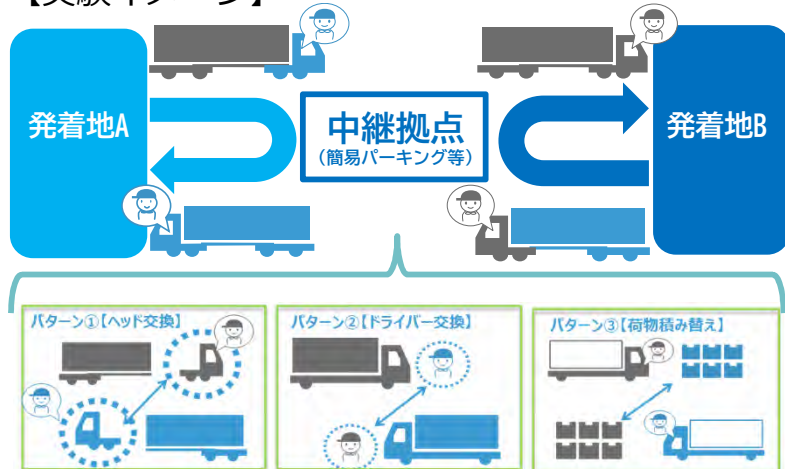
【実証実験の目的】

これまでの実証実験で得られた知見※により、中継拠点として選択できる場所の増加が重要であることから、一般車両の利用が比較的少なく、中継輸送に必要な広さが確保出来る「簡易パーキングやチェーン脱着場」の活用における有効性と課題の把握を目的とする。

【効果検証】

輸送時間、輸送費用、環境負荷の変化、トラック実働率、簡易パーキングやチェーン着脱場を活用する有効性と課題の把握、予約システムに必要な機能の把握

【実験イメージ】

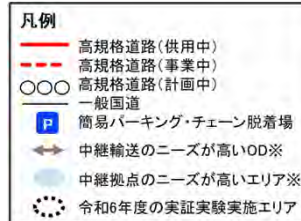


【予約システムの検証】

中継輸送拠点の利用予約や中継輸送を行う相手との運行状況の共有を行うシステム。スマートフォンによる入力・確認が可能。



令和6年度は、入力フォームをよりわかりやすく改善。



※令和4年度の調査より



※令和5年度までの実証実験では、既存の道路施設等を活用した中継輸送・共同輸送により輸送時間の削減、輸送費用の削減、環境負荷（CO2排出量）の削減を確認している。
一方、高規格道路の通行（速度）規制時に予定通りの運行とならず到着時間を超過する場合があります。運転時間・待機時間が増加したり、道の駅や除雪・管理ステーションでは一般車や除雪車両との錯綜を心配する声を確認している。
令和6年6月10日発表資料：<https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/release/slo5pa000001eo6g-att/slo5pa0610doukei02.pdf>

令和6年度実証実験概要(短距離輸送(地域内輸送))

- 後志方面では、都市間を輸送する大型トラックから地域内を輸送する小型トラックに荷物を積替える中継拠点が少なく、広域な集配エリアをカバーしており非効率な状況。
- 都市間(千歳⇄倶知安)を輸送する大型トラックから後志地域内(中継拠点⇄各市町村)を輸送する小型トラックに荷物を積替える中継拠点として簡易パーキング等を活用し、現状の1箇所(民間施設)から3箇所に増設する実験を実施。

【実施日程】

各実施場所での実験日程は、以下のホームページで公表いたします。(随時更新)

https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/kn/dou_kei/slo5pa000001ht5c.html

【実証実験の目的】

これまでの実証実験で得られた知見※により、中継拠点として選択できる場所の増加により地域内輸送の更なる効率化が期待できることから、一般車両の利用が比較的少なく、中継輸送に必要な広さが確保出来る「簡易パーキングやチェーン脱着場」の活用における有効性と課題の把握を目的とする。

【効果検証】

輸送時間、輸送費用、環境負荷の変化、トラック実働率、簡易パーキング等を活用する有効性と課題の把握

【実験イメージ】



※令和5年度の実証実験では、除雪ステーションを活用した中継輸送により「中継拠点と集配エリア間の移動距離・時間が短くなる分、集配エリアでの配送に時間を充てられるので、荷物の取り扱い件数が昨年同月より約3,500件(約4%)増えたが、労働時間を増やさずに対応することができた」等の声を確認している。一方、除雪ステーションの活用にあたっては道路管理作業との錯綜を懸念する声を確認している。

令和6年6月10日発表資料: <https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/release/slo5pa000001eo6g-att/slo5pa0610doukei02.pdf>

令和6年度の北海道における実証実験（位置図）

①道南方面



黒松内町白井川

- 【対応中継方式】
- ・ヘッド交換※
 - ・ドライバー交替
 - ・荷物積替
- ※上下線両方の利用、片側のみ利用のいずれでも可



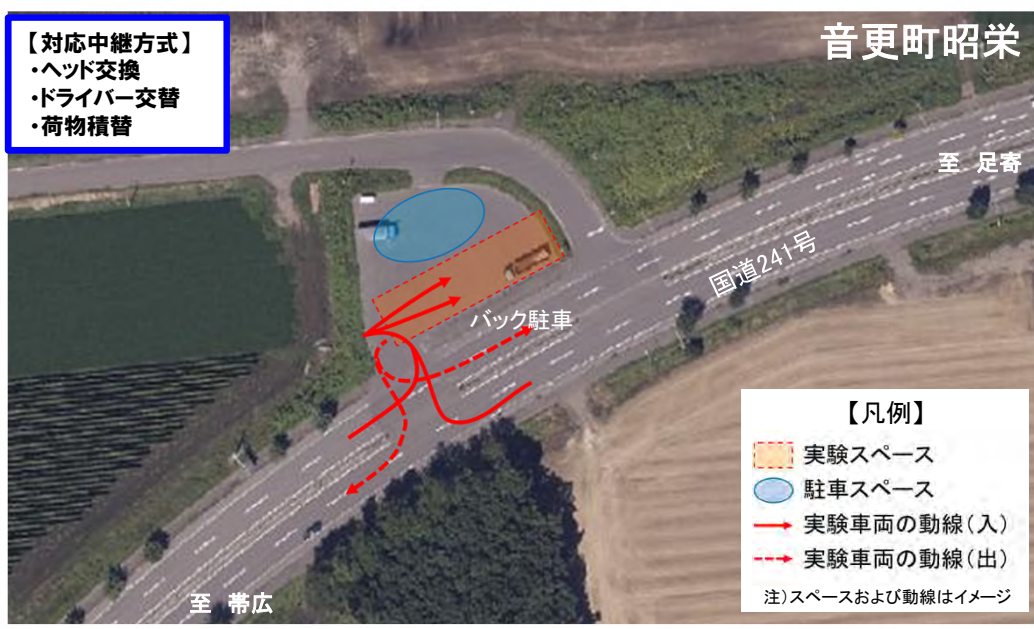
- 【凡例】
- 実験スペース
 - 駐車スペース
 - 実験車両の動線(入)
 - 実験車両の動線(出)
- 注)スペースおよび動線はイメージ

②道東方面



音更町昭栄

- 【対応中継方式】
- ・ヘッド交換
 - ・ドライバー交替
 - ・荷物積替



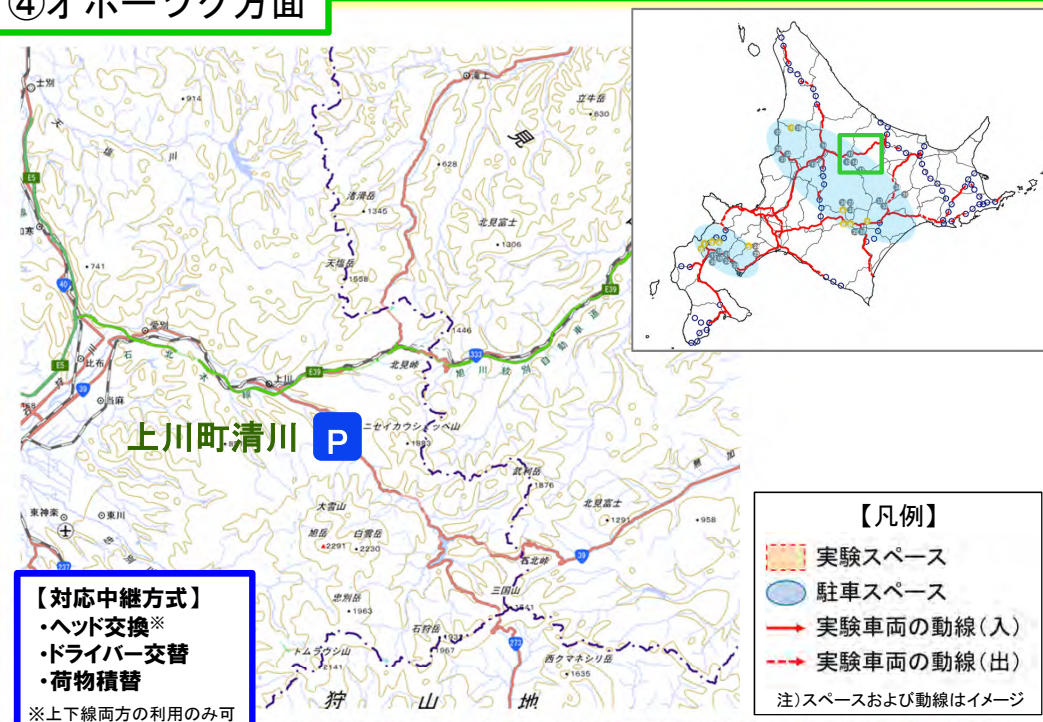
- 【凡例】
- 実験スペース
 - 駐車スペース
 - 実験車両の動線(入)
 - 実験車両の動線(出)
- 注)スペースおよび動線はイメージ

令和6年度の北海道における実証実験（位置図）

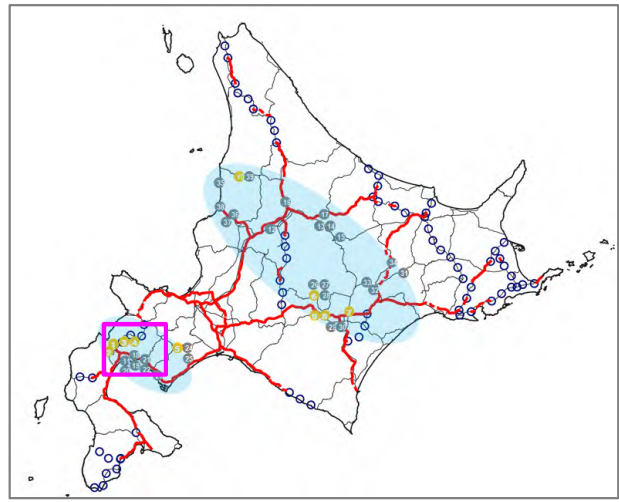
③道北方面



④オホーツク方面



後志方面（地域内輸送）



ニセコ町西富

【対応中継方式】
・荷物積替

バック駐車

至 函館

国道5号

至 札幌

【凡例】

- 実験スペース
- 駐車スペース
- 実験車両の動線(入)
- 実験車両の動線(出)

注)スペースおよび動線はイメージ

喜茂別町尻別

【対応中継方式】
・荷物積替

至 札幌

国道230号

バック駐車

至 洞爺湖町

国道276号

【凡例】

- 実験スペース
- 駐車スペース
- 実験車両の動線(入)
- 実験車両の動線(出)

注)スペースおよび動線はイメージ

実証実験実施箇所における注意喚起

○実証実験実施箇所における実験スペースの分離

実証実験を実施する簡易パーキング・チェーン脱着場では、一般車両の安全確保のため、実験スペースを区切ったうえで実験を行いますので実証実験中は実験スペース外への駐車にご協力をお願いします。

イメージ図

実験中は
実験スペースを明示

実験スペース

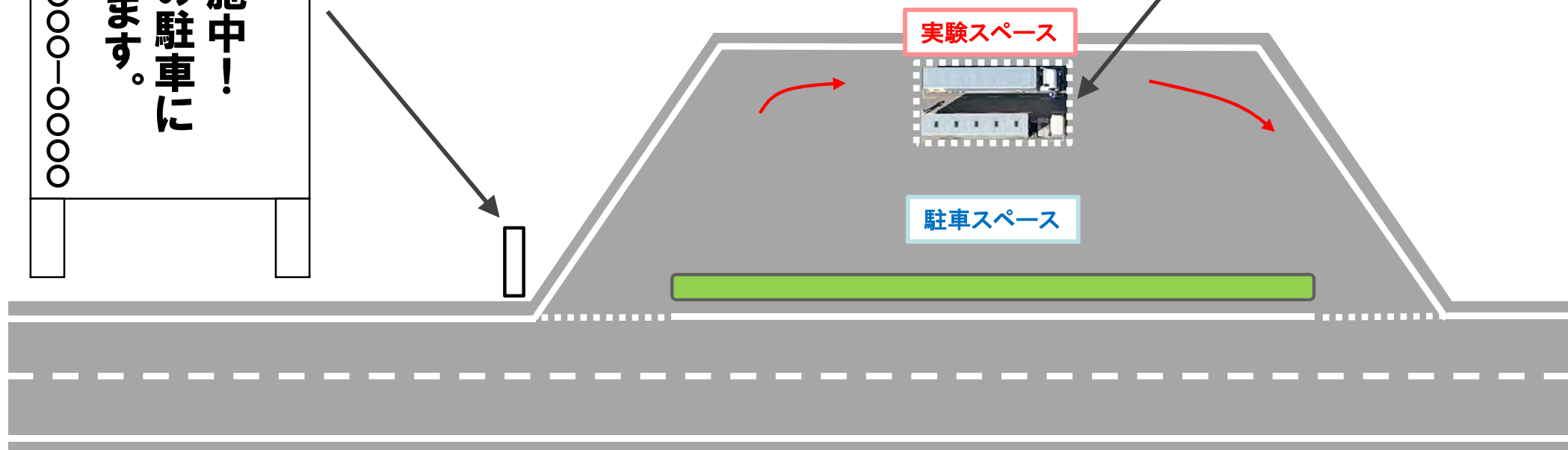


駐車スペース



中継輸送実験実施中！
実験スペース外への駐車に
ご協力をお願いします。

お問い合わせ：北海道開発局 〇〇〇-〇〇〇〇



管理者記入用（申込年月日 令和6年 月 日 No. ）

【 取 材 申 込 書 】

北海道内の簡易パーキング等を活用した中継輸送実証実験

(フリガナ) 氏名：	
(フリガナ) 所属：	
ご連絡先	電話番号：() E-mail アドレス： ※日中連絡がつく番号を記載願います。
取材を希望する実験箇所	
備 考	

<参加申込書の提出及び問合せ先>

■連絡先 E-mail：hkd-ky-shakai-811@gxb.mlit.go.jp